

水 稻 標 準 除 草 体 系

除草剤の使用期間 (田植後の日数)		代かき	田 植																																	
対象雑草			田植7日前	田植後3日	5日	7日	8日	10日	15日	20日	25日	30日	35日	40日	45日	有効分げつ終止期～幼穂形成期前																				
1年生雑草及びホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、マツバイ     			①粒 剤 510 ②フロアブル剤 310 ③ジャンボ剤 (投げ込み剤) 510 ④トップガンLフロアブル 3710 ⑤エーワンフロアブル 710 ⑥イッテツジャンボ 07 ⑦ウィナーLジャンボ 58 ⑧テラガードLジャンボ 510 ⑨サキドリEW 1430 ⑩ユニハープフロアブル 2040 ⑪レプラス 1 キロ粒剤 (移植後14日～ノビエ4葉期まで) 1kg(1袋)／10a 一年生雑草及び多年生雑草 収穫60日前まで (ホタルイは花茎10cmまで、ウリカワ、ミズガヤツリは4葉期まで、オモダカは矢じり葉3葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、クログワイ、コウキヤガラは草丈30cmまで) ⑫フォローアップ1キロ粒剤 (移植後20日～ノビエ5葉期まで) 1kg(1袋)／10a 収穫60日前まで 一年生雑草及び多年生雑草 (ホタルイは5葉期まで、ミズガヤツリは3葉期まで、ウリカワ、ヘラオモダカは4葉期まで、クログワイ、オモダカは草丈30cmまで) ⑬ヒエ クリーン1キロ粒剤 (移植後15日～ノビエ4葉期まで、水深3～5cmで散布) 1kg(1袋)／10a 収穫45日前まで ⑭ラウンドアップマックスロード[®] (50倍液)…雑草生育期。耕起の20～10日前に散布。 ○キシュウスズメノヒエ・セリの防除は収穫後ラウンドアップマックスロード50倍で散布すると有効である。																																	
																				○必要により何れかを、有効分げつ終止期～幼穂形成期前までに (有効分げつ終止期までに使用すると分げつが止まるため使用時期に注意する)																
																				ヒエを取りこぼした場合 			⑮ヒエ クリーン1キロ粒剤													
キシュウスズメノヒエ 			⑯クリンチャーEW (発生時(移植後20～40日に畔際を中心に)1,000倍																																	
ウキクサ、アオミドロ等の多発田			⑰モゲトン粒剤 2～3kg／10a ・発生始～盛期(但し稲刈取45日前まで) ・水稻3葉期以前及び極端な深水田での使用はさける。																																	
クサネムを取りこぼした場合 ノミニー液剤 移植後30日～クサネムの草丈40cmまで ただし、収穫60日前まで 50～100ml／10a 茎葉散布 使用にあたっては、薬害に注意して下さい。			《注 意》 ・除草剤の使用にあたっては水管理や散布時期の条件を厳守する。 ・整地や代かきは、田面に高低がないようにする。 ・フロアブル剤の使用にあたっては、極端な深水や漏水田での使用はさける。 ・フロアブル剤は、使用直前に容器をしっかりと振る。 ・ジャンボ剤(投げ込み剤)の使用にあたっては、水深5cm以上で散布する。 ・ジャンボ剤(投げ込み剤)は、ウキクサ アオミドロの多発田では使用しない。 ・水持ちの悪い水田では、粒剤を使用して下さい。																																	